

# 「私が感じた小須戸っ子」



小須戸小学校長  
池田 保雄



## ～まごころあふれる子どもに～



兄ちゃん姉ちゃんと、みんなで掃除

小須戸小学校にお世話になつておおよそ七か月が過ぎました。地域や保護者の皆さんに支えていただいで、新しくできた総合的な学習や「行事」など充実した中で順調に行つていきました。これまで、子どもたちと「まごころ」をこめて、この面をぜひ続けて伸ばしていきたいものだと考えていることを述べたいと思います。

**「まごころ」**  
朝、できるだけ子どもたちの登校時間帯に合わせて校門付近で立っています。早く来る子どもたちは、およそ七時四十分頃から学校にやってきました。私からもあいさつの声をかけますが、ほとんどの子どもたちは自分からあいさつをしてくれます。中には、「おはようございます。」「おはようございます。必ず軽くでも頭を下げながら(会釈をしながら)あいさつをしていく子どももいます。そうすると、私も自然と頭を下げて返すことになります。そんな子どもが小須戸は多いよ

うに感じます。また、子どものことでちょっと気付いたことなど話しかけたりすることもあります。たいていの場合、ニコニコして応えてくれます。

平成十二年には小須戸町は「まごころの町宣言」をしました。学校の児童玄関や校長室に宣言の額が掲げてあります。その宣言文の第一番目に「爽やかに まごころこめた あいさつで」と書かれています。先に述べたような子どもたちの「あいさつ」の様子は、長く大切にされてきたこの地域の気風や、「まごころ町宣言」の精神が行き渡っていることによるものだと思います。一日の人の出会いは朝のあいさつから始まります。気持ちよいあいさつのできる子はきっと、心も体も健やかに育っていくに違いありません。

**「まごころ」**  
毎日学校ではそうじをします。小須戸小学校では、縦割りの班で、各学年の子どもたちが入り混じって担当の場所をそうじします。私は、校長室、教務室、児童玄関など近くのそうじの様子を毎日見ることが出来ます。現今、そうじを上手に怠けずする子どもが少なくなっているのが一般的です。しかし、小須戸小学校の子どもは、そうじにがんばって取り組んでいます。廊下など、低学年の子どもが額に汗をかきながら雑巾がけをしつかりやっています。高学年は低学年の様子を見ながら、上手に指示してちよつと力や技術がいった

**ちょこっと一言 (176)**

「えっパソコン講習会？私……何でやるの」と思いながらも、主人に何度も言われ、重い腰をやつとあげ昨年初心者コースを受講しました。先生方に親切・丁寧な教えていただき、メールができるようになりました。そして、今年九月十月に行われたパソコン講習

りする自分の仕事もうまくやっています。きつと、こうした子どもたちの働きぶりは、大方の家庭での手伝いの習慣などによって、身に付いたものからくるものだと思います。

こんなことも、大切に育てていきたいことの一つです。以上のような子どもたちの姿は、言ってみれば当たり前前のことかも知れません。しかし、当たり前のことがなかなかできないことが多い世の中になつていくように思っています。だからこそ、大切にしなければならぬと考えています。小学校では、その年齢にふさわしく、子どもらしさを発揮させ、明るく元気一杯な学校生活を送りたいと考えています。一方、将来の良き社会人としての身につけていくことが大事なことと、中々、小須戸町が一つになつて育つていくように思っています。

「まごころ」(豊かな心)は、近頃の世相をみると、とりわけ大切なものだと実感させられます。

本町二  
村井玲子さん

「きれいな公園をありがとう」  
「親水緑地公園」を利用して、サカスポーツ少年団 能登 長利公園が国土交通省と第三者団体から四つ星を受けました。新潟日報でこのことを知り利用団体として大変誇りに思いました。その陰には管理の人達の日々の苦労があったことを、あらためて感謝したいと思います。

これからも利用団体として管理に協力を致しますので、評価に恥じない公園にして頂きますようお願いいたします。

**投稿文**

会に、ワード、エクセル共に受講することができました。絶対できないと思込んでいた私ですが、やっついていくうちに、もつと知りたい、もつともつとと思うようになりました。何事も尻込みせずに、やってみるものだなと、つくづく思いました。

これを機会に、いろいろな事にチャレンジし、毎日を楽しみます。そうと思っています。

学校でも「まごころ活動」と名付けて、子ども同士の関わり合いや、地域の方々との交流、色々なボランティア活動などを取り入れて「まごころ」を育てようとしていきます。その実を上げるためにも、ぜひ、地域の皆様の御支援をいただければと思っております。

**大会の結果**

第8回北信越小学生バドミントン選手権大会  
(十月十四日(月)・祝・石川県)  
五年生以下男子ダブルス  
第三位 砂井良介・米田健司組  
※砂井・米田組は全国大会に出場  
第81回回民魚つり大会  
去る十月六日(日)に新潟市親松にて、開催されました。結果は次の通り(敬称略)

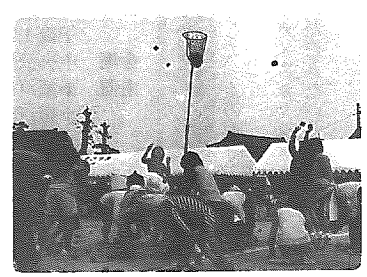
大賞賞 佐藤 一臣  
二位 内山 忠雄  
三位 高山 善治

小須戸町グラウンドゴルフ大会  
(十月二十六日(土)・スポーツ公園野球場)

一位 塚野征子(松ヶ丘)  
二位 宮田 正(松ヶ丘)  
三位 家塚都雄(天ヶ沢三)



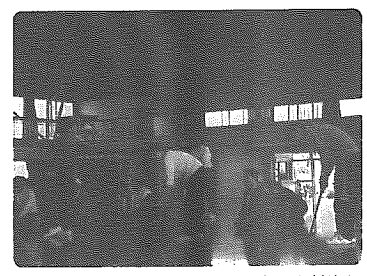
元気いっぱい 未来のオリンピック選手かも…。(小須戸分館ふれあいフェスティバル)



はーい、父ちゃん、玉を早く!! (水田地区運動会)



ワッセ、ワッセ、腰落せ〜! (矢代田分館山の手大運動会)



やいっや、ゲートボールってめんどんどや! (新保分館運動会)

**「ぶらつとカメラ散歩」各地のスポーツの秋を紹介!**

十月六日(日)、町内の四会場で運動会が開催されました。当日は天候に恵まれ、子どもからお年寄りまでが楽しく競技に参加し、さわやかな汗を流しました。

第51回新潟県剣道大会  
(十月二十七日(日)・柏崎市総合体育館)  
団体男子35歳以下の部  
第三位 小須戸町剣道連盟  
団体高校女子の部  
第三位 小須戸町剣道連盟

水田地区かぼちゃ品評会  
(十月六日(日)・水田成年部主催)  
優勝 木村寅一 重量536kg

第21回新保分館運動会  
(十月六日(日)・町民体育館)  
優勝 菊チーム(竜玄)  
準優勝 梅チーム(新保三)  
第三位 松チーム(新保二)

**分館スポーツ大会の結果**

第50回矢代田分館山の手大運動会  
(十月六日(日)・矢代田小学校グラウンド)  
総合優勝 矢代田Bチーム  
総合準優勝 鎌倉チーム  
総合第三位 矢代田Aチーム  
応援の部 優勝 松ヶ丘チーム

ふれあい電話相談  
教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。  
十二月の相談日  
六日(金)・十三日(金)  
二十日(金)・二十七日(金)  
受付時間 午後一時〜五時  
電話番号 三三三-三三〇〇  
三三三-三三〇〇  
※お電話は、言わなくてもいいです。秘密厳守、図可守ります。

# 中学生、公民館職場を初体験

## 「将来の就職活動に役立てて」

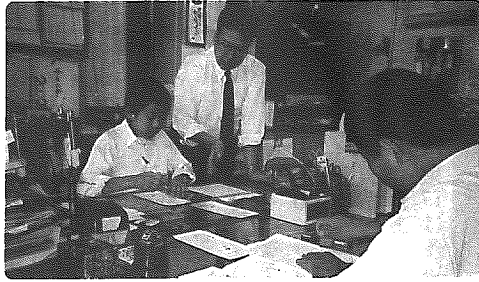
十月九日(水)、小須戸中学校の総合的な学習の一環である「職場体験学習」ということで、同中学校二年生の男子二名が中央公民館を訪れました。

この活動は「自分の希望した職場での仕事、作業を体験すること」や、「大人の働く姿にふれて、勤労観や職業観などを体得する」などの目的が込められています。

体験学習の内容としては、館内の清掃や、図書の整理や貸し出し等の仕事を体験してもらいました。

生徒の様子は、中学生らしく素直によく説明を聞いてくれて、いわれた実務作業を黙々とこなしていました。「職場体験学習」が終わり、感想を聞いてみました。

村山孝徳さん(大川前三)「普段できない、いろいろな



お！上手ね〜。(封筒書き体験)

体験が出来てよかったです。

西山直樹さん(文京町一ノ三)「働くことは大変だと思いましたが、大人はすごく大変なんだと思いました。初めて体験することばかりだったと思いますが、全日程が終わって、二人のホッとした表情が印象的でした。」

### 「健し物」案内

投稿記事募集要項  
内容 学校や家庭、友達や人間関係などにおける悩み。感動したことなど。  
対象 中学生以上の一般市民  
字数 五百〜五百二十文字  
郵送を原則とします。  
匿名で結構です。  
〒九五六〇一〇一  
小須戸町中央公民館  
※なお、記事の選考は公民館編集委員会でおこないます。

### ◎おもしろ博士講座 (最終回)

好ましい人間関係のあり方や、これからの高齢者の重大な役目等について講師が自分の体験を織り交ぜて話します。  
日時 十二月十三日(金) 午後七時半〜九時  
会場 中央公民館二階視聴覚室  
演題 「七十歳、私の人生論」  
若い方もお集まり下さい。  
講師 長谷川朝子先生(新潟市立新湯美術学園々長(画家)となたでも自由に参加できます。  
対象 中央公民館

### ◎「冬休みわんぱくひろば」不思議な物体、スライムで遊ぼう!

日時 十二月二十五日(水) 午後一時半〜三時まで  
会場 中央公民館二階・学習室  
対象 幼児と保護者、小学生、中学生  
内容・スライムを作ってみよう  
・スライムで他にもいろいろ試そう  
定員 先着三十名(参加費は無料)  
講師 山田淳さん(新潟市立新湯美術学園々長)  
持ち物 炭酸飲料の入っていた500mlのペットボトル二本  
申込み 十一月十三日(金)までに公民館へ  
主催 中央公民館

### ◎親子冬の水鳥探鳥会

日時 十二月七日(土) 午前八時〜十一時四十分  
集合場所 小須戸町役場前に八時集合・出発  
行き先 佐潟(新潟市赤塚)  
対象 白根市・小須戸町の児童、生徒とその保護者  
定員 三十名(多数の場合は抽選)  
持ち物 買製指針双翼種ごいさ  
※参加費は無料  
※開演時は「徳水本郷・湿地センター」で観察申込み・問合せ 十一月二十五日(月)までに白根学習館へ電話で申込み下さい。  
☎025-372-5533

### 第20回町民俳句大会

応募者70名、詠句の中から、各部門に次の方々が入賞されました。(敬称略)

町長賞 高野万里子(矢野三)

町長賞 五十嵐成奈(文京町)

教育長賞 坂上はるか(鎌倉)

公民館長賞 岩井 茜(文京町)

文化協会長賞 又地真琴(矢代田五)

俳句同好会賞 阿達亮馬(矢代田十)

「高校生の部」

町長賞 笠原三奈(新津市)

町長賞 笠原三奈(新津市)

教育長賞 原 小雪(新津市)

公民館長賞 吉田希美(新津市)

文化協会長賞 関川英美(五泉市)

俳句同好会賞 高橋未希(新津市)

## 「まごころのまち小須戸町」

「まごころのまち小須戸町」の住民にふさわしい環境作りを各種団体・地域・学校・家庭等で連携し、協力し合って、実践活動を展開しています。  
今年度も、「まごころのまちづくりフォーラム」を次の日程で開催します。写真展を見たり、活動・体験報告を聞いてみませんか。心にのこるむかしばなしの語りもあります。  
皆様、お誘いあわせのうえ、おいでください。  
日時 11月30日(土) 午後1時から3時まで  
会場 中央公民館 3階ホール  
主催 小須戸町教育委員会  
小須戸町まごころのまちづくり協議会  
ご来場の皆様にかわいいお花の小鉢をプレゼントします。

### 中学校にきてください!

小須戸中学校ではいじめ防止活動として、次の取り組みを公開します。  
生徒の熱演と様々な意見が飛び交うディスカッションを一般の方々からも是非見に来ていただきたいと思ひます。  
○生徒の手によるいじめ防止演劇  
日時 十一月二十七日(水) 午後一時四十分  
場所 中学校体育館  
○いじめ防止パネルディスカッション  
日時 十二月五日(木) 午後一時四十分  
場所 中学校体育館

### 「一般の部」

町長賞 丸山虚秋(うでき)

町長賞 佐久間久子(本町三)

教育長賞 関根紀男(矢代田三)

公民館長賞 関野良遊(新保二)

文化協会長賞 牧野ヒサ(大川前三)

俳句同好会賞 大貫松次郎(新保二)

### 「会員を募集します」

歌の好きなあなた、一緒に歌いませんか

私達は年令を問わず歌うことが大きな集団の「コールあじさい」です。  
歌が好きならばぜひ仲間になりませんか。お待ちしています。  
練習日 毎週水曜日  
午後七時三十分から  
連絡先 中央公民館 ☎381-2234  
安達宅 ☎381-3644

## 文芸欄

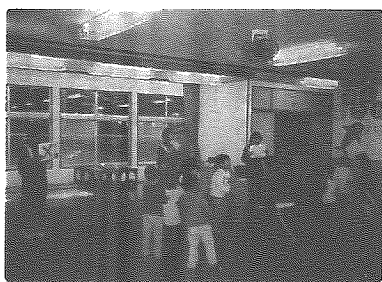
敵意なき秋の蛇をり光りをり 内山越楼  
虫時雨醒めて湯宿でありしかな 五十嵐香月  
一匹で足りる秋刀魚を選びをり 田中美根子  
刈りおはりたる千枚田群れ稲穂 馬場綾子  
廻り道これも人生吾亦紅 坂井隆思  
實さくろの裂けて重んもどりけり 牧野信雄  
山門をくぐりてゆけば初時雨 長井武雄  
町内の家族の集ひ良夜かな 須藤恵美子  
川音の近き畝より菜を問引く 藤井れい  
お別れの予感を抱いて引くルージュ 能登としお  
妻となる予感が走る見合席 小林みのる  
柳 予感 まさかとは思うが一線引いて置く 渡辺信子  
肩書きがとれて予感が鈍りがち 栗原ひさし

### 「シリース」

「シリース 子どもたちは」(74)  
十月九日・十日、二年生が職場体験を行いました。体験先は、小学校、保育園、役場・公民館、放送局、歯医者、動物病院、食堂等と様々です。  
小学校では、国語、算数等の授業のお手伝いをして、先生の仕事を少しあじわいました。「計算問題、久しぶりにやって間違えそうになりちよつとやばかったな。」「教えるのは難しいな。」そして「中学校の先生方の大変さが少しは分かったよ。」と最後は涙が出るような感想。  
保育園では、部屋に入るなり「キヤー、キヤー。」と大歓迎。両手にぶら下がられ、さらにおんぶにだっこ。戦いごっこでは、たたかれたりけ

### 夢をかなえる職場体験

小須戸中学校  
られたりと園児のパワーにもうけた。昼寝のときは寝てしまいうになりました。でも、帰るとき「また来てね」と言われ、園児の喜ぶ顔を見て疲れも吹っ飛んだようです。町内の皆様、大変ありがとうございました。



保育園で...「○かな×かな」

～おわび～  
☆10月号の公民館報で、県展入選作品「迫り来る死」の写真(作者:風間忠雄さん)が表と裏が逆でした。慎んでおわびいたします。  
☆この度の町民展で舟戸の山崎さんの陶芸作品が公民館事務局の不手際で展示にミスがありました。慎んでおわびいたします。